

確かな学力の育成

確かな学力の育成

見えやすい学力

見えにくい学力

全国学力・学習状況調査の結果

○ 調査の目的

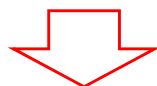
義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

<成 果>

- 学力向上検証改善サイクルの確立
- 各学校の学力向上に関する気運の向上

[問 題]

- △ C、D層に着目した手立てや支援が不十分
- △ 見えにくい学力を育むことが不十分



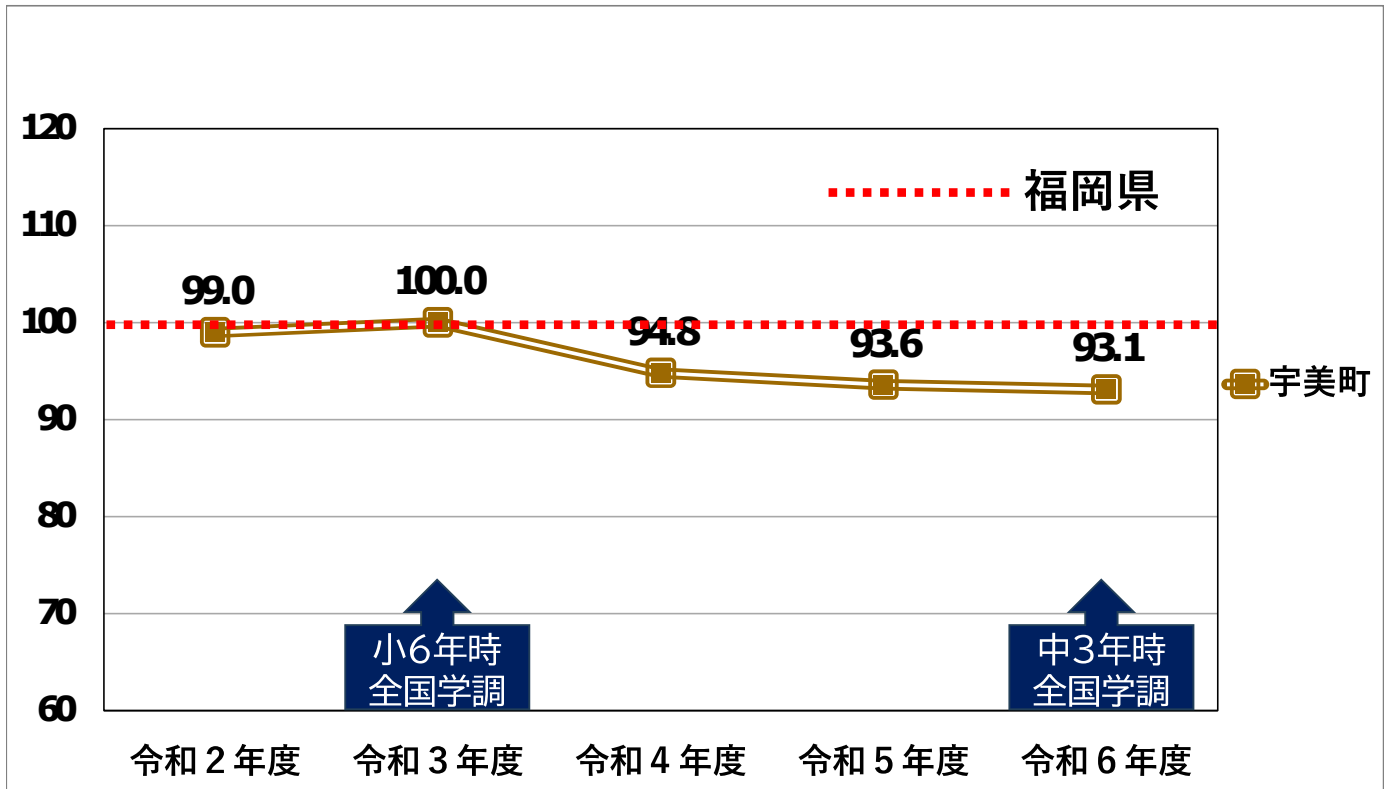
【課 題】

- ◇ 見えにくい学力を高めるとともに、見えやすい学力を、毎年0.1ポイントずつ高める。

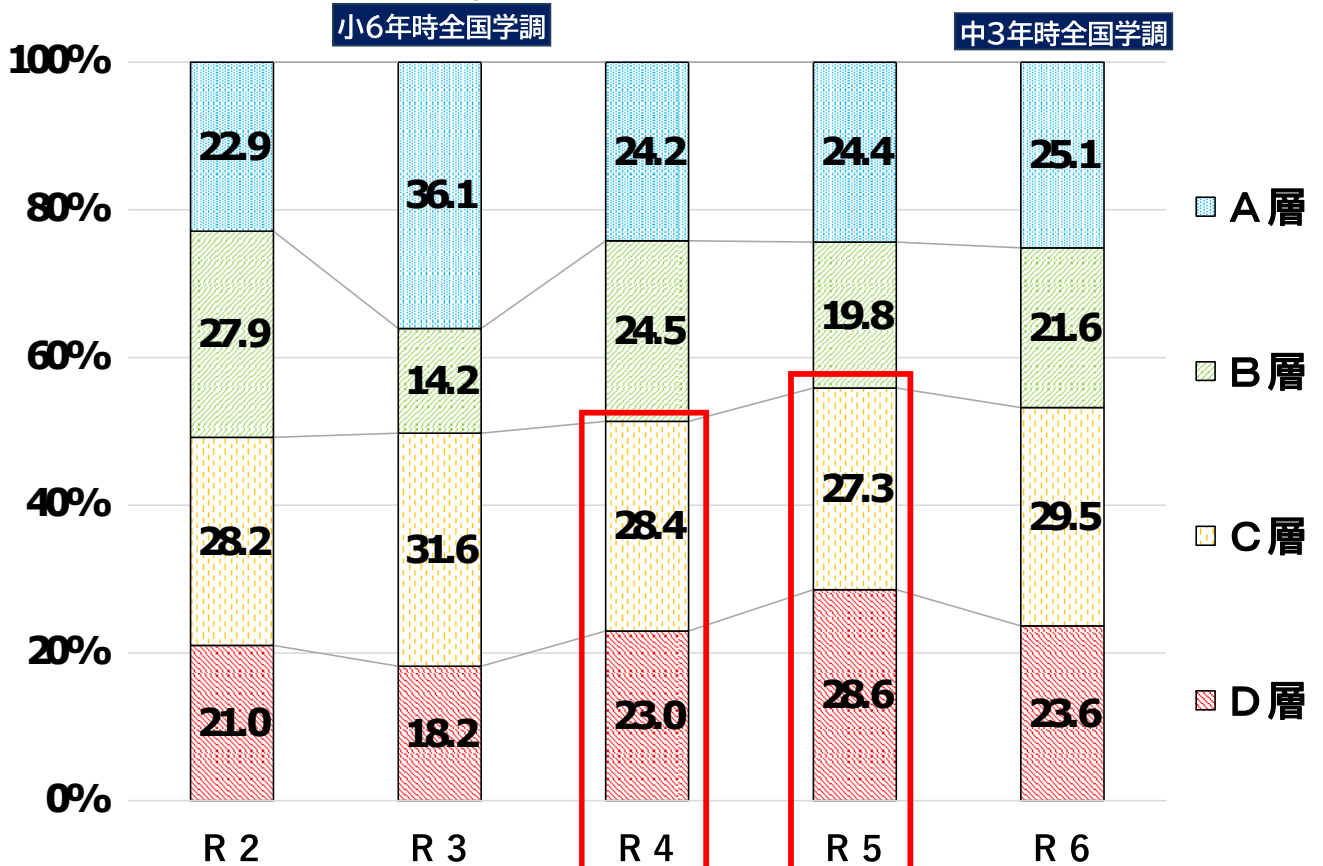
＜見えやすい学力＞
福岡県の算出法による標準化得点

- 福岡県の算出法による標準化得点
- 県の報告書、報道
 - 学力向上プラン←県学力調査（小5、中1・2）
 - 小5～中3の同一児童生徒の推移
 - A中の数学の数値で、15.8ポイントの違い

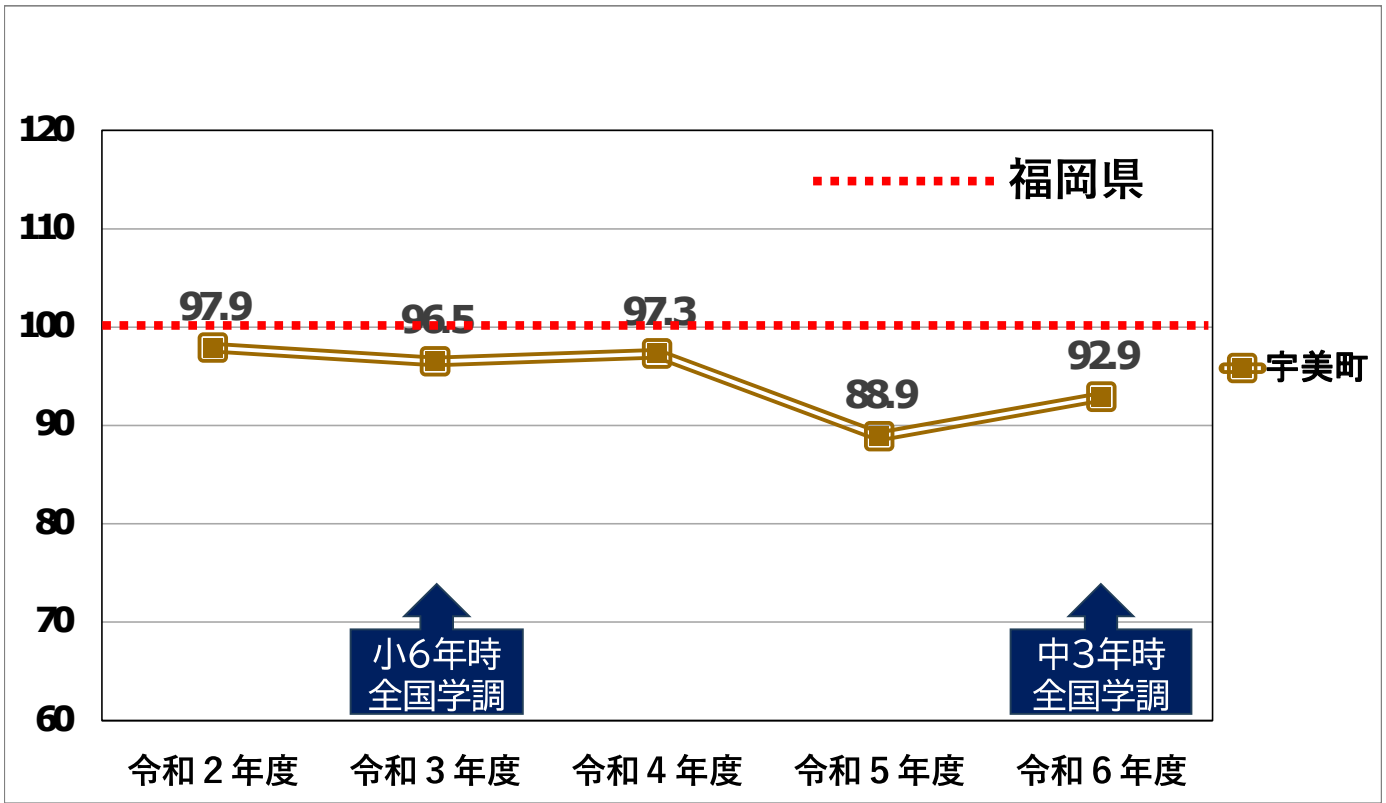
<見えやすい学力・福岡県の算出法>
令和6年度中学校3年生の同一児童生徒推移
(国語科の標準化得点の推移)



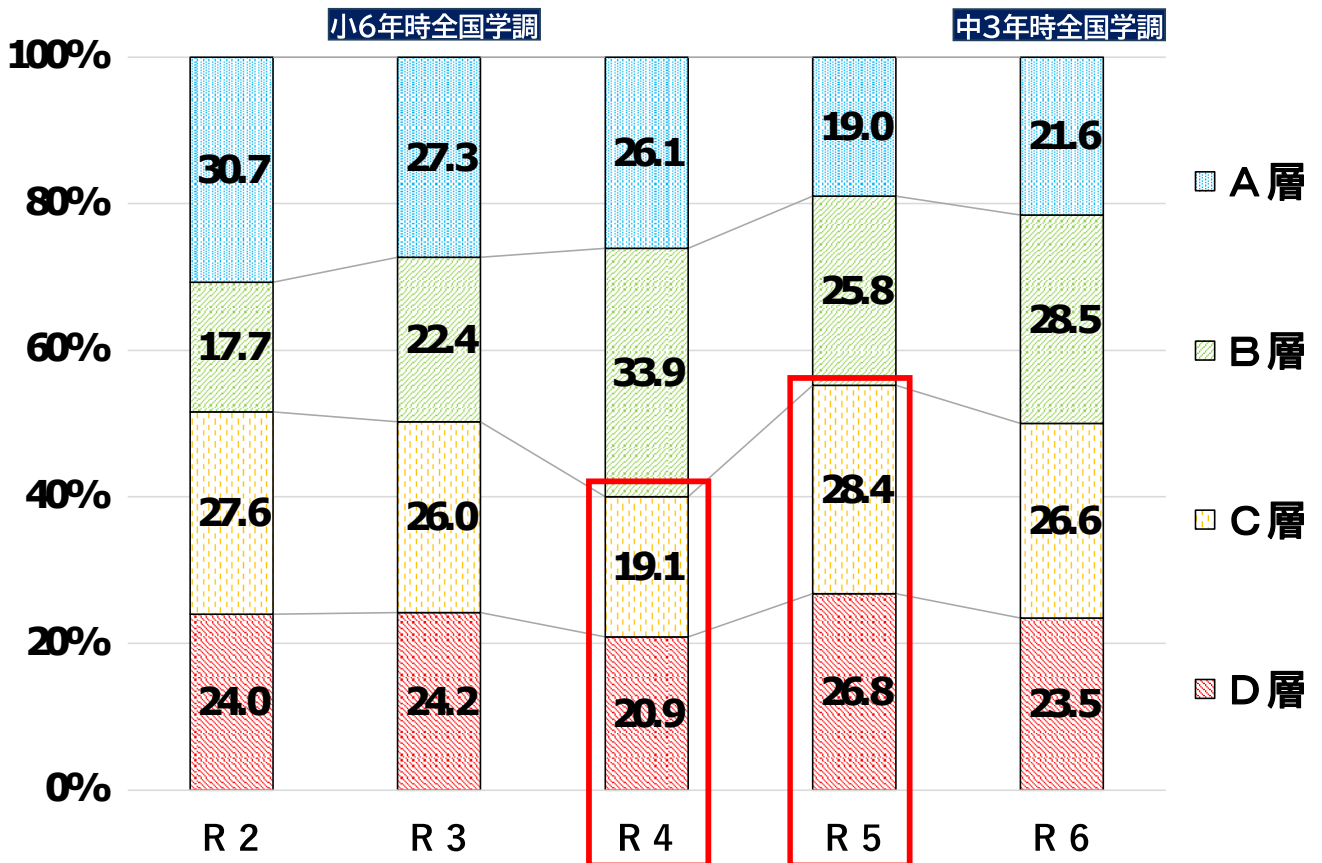
令和6年度中学校3年生の同一児童生徒推移
国語科四分位層の推移



<見えやすい学力・福岡県の算出法>
令和6年度中学校3年生の同一児童生徒推移
(算数科、数学科の標準化得点の推移)



令和6年度中学校3年生の同一児童生徒推移
算数科、数学科四分位層の推移



見えにくい学力（非認知的能力）の質問内容と項目

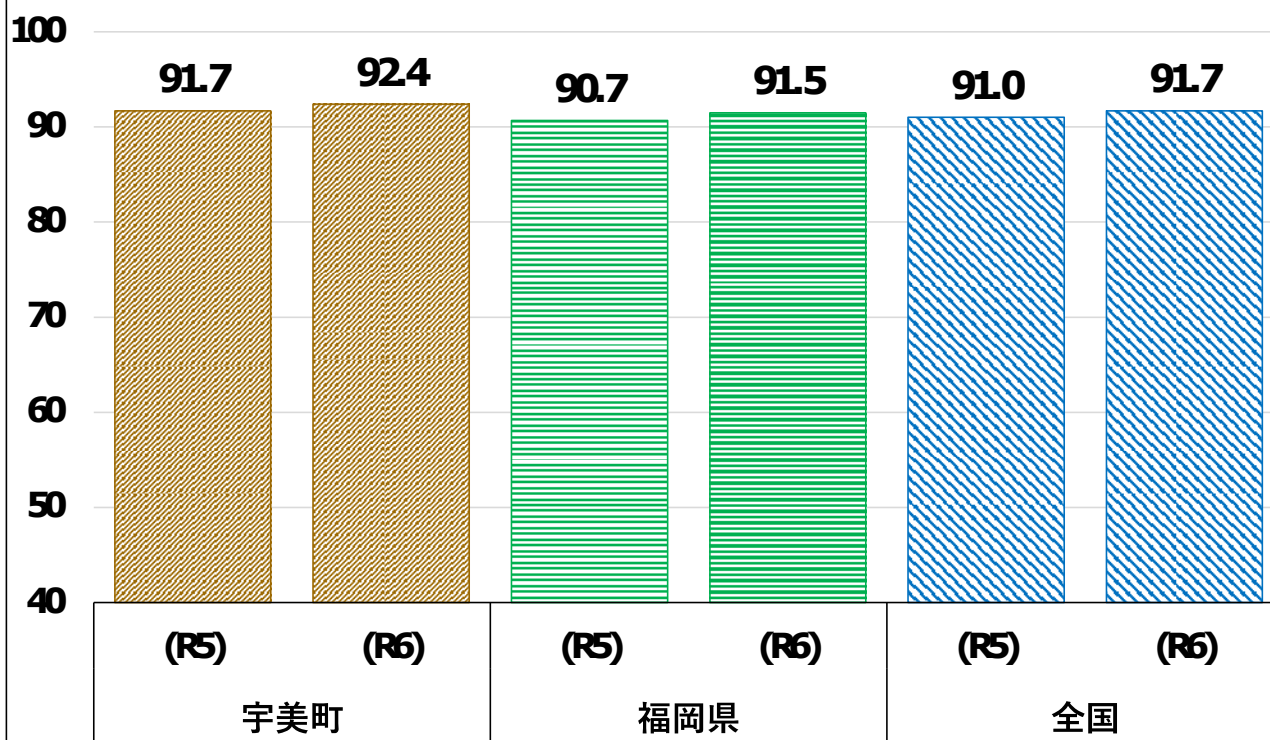
児童生徒の質問内容	見えにくい学力の項目
学校に行くのは楽しいと思う。	心理的安全性
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはよくある。	幸福感
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。	主体性
授業は、自分に合った考え方、教材、学習時間などになっていた。	個別最適
学習した内容について、分かったことや、よく分からなかった点を見直し、学習につなげることができている。	メタ認知、自己調整
PC・タブレットなどのICT機器を「ほぼ毎日 週3回以上 週1回以上」使用した。	ICTの利活用

見えにくい学力（「幸福感」）

宇美町（小学校）

設問：普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。

1. よくある 2. ときどきある と、回答した子どもの割合

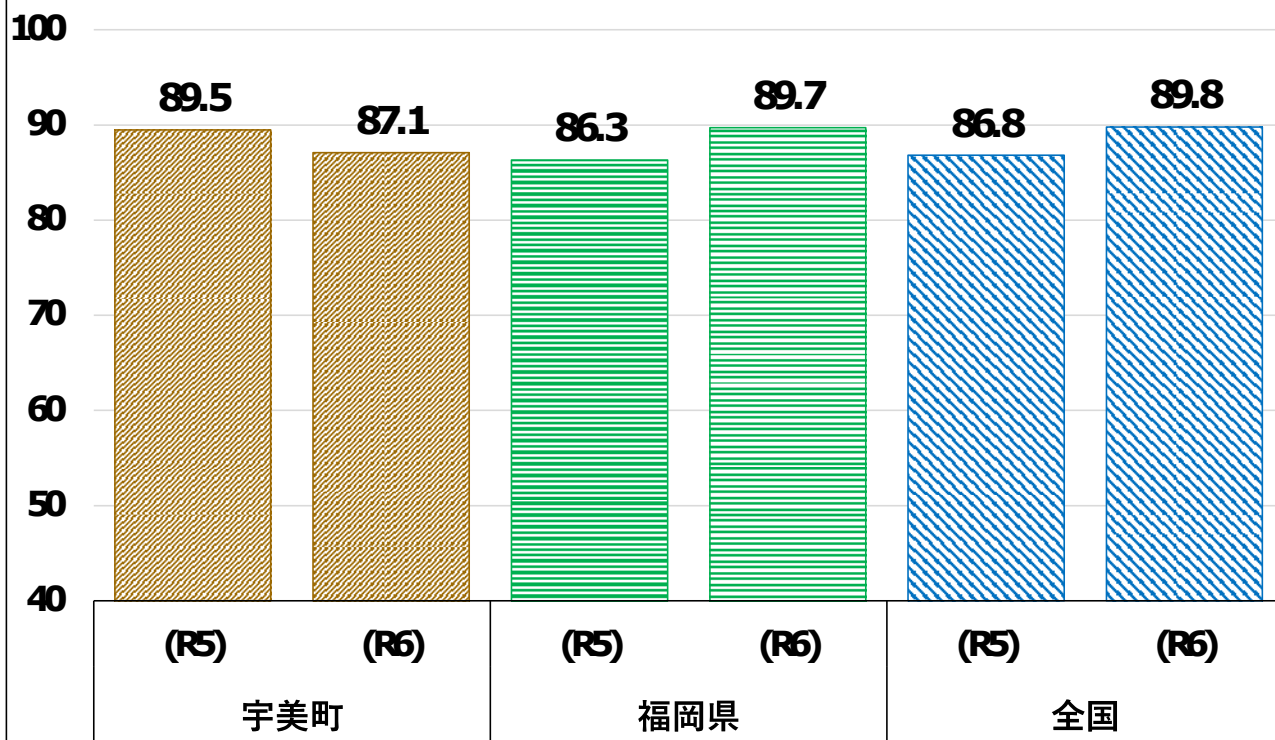


見えにくい学力（「幸福感」）

宇美町（中学校）

設問：普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。

1. よくある 2. ときどきある と、回答した子どもの割合



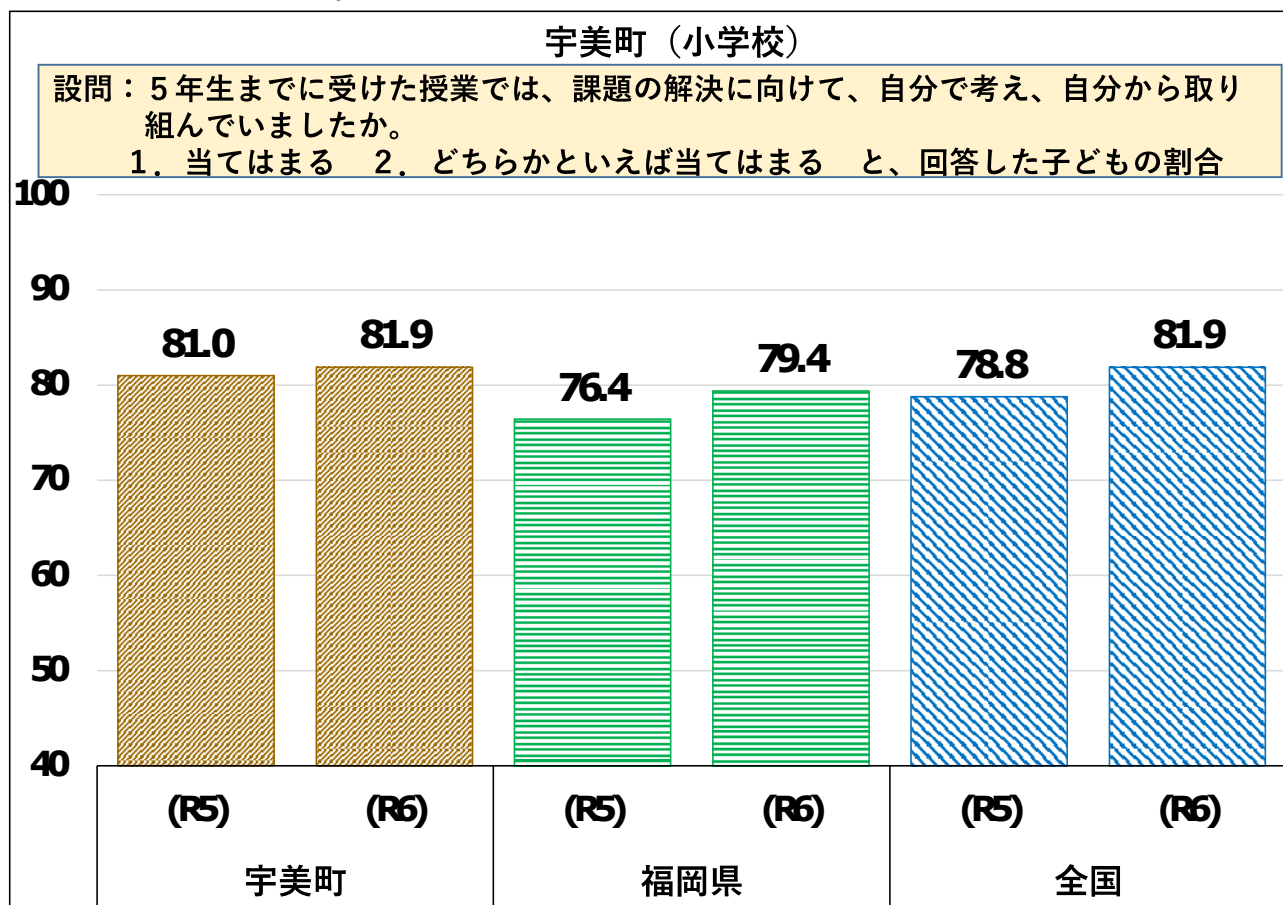
< 幸福感について教育委員の方々のご意見 >

- ・ 子どもの幸福感の多様化
- ・ 思春期の子は、ベストアンサーを選択
- ・ 学びの自立と学ぶ持久力の大切さ

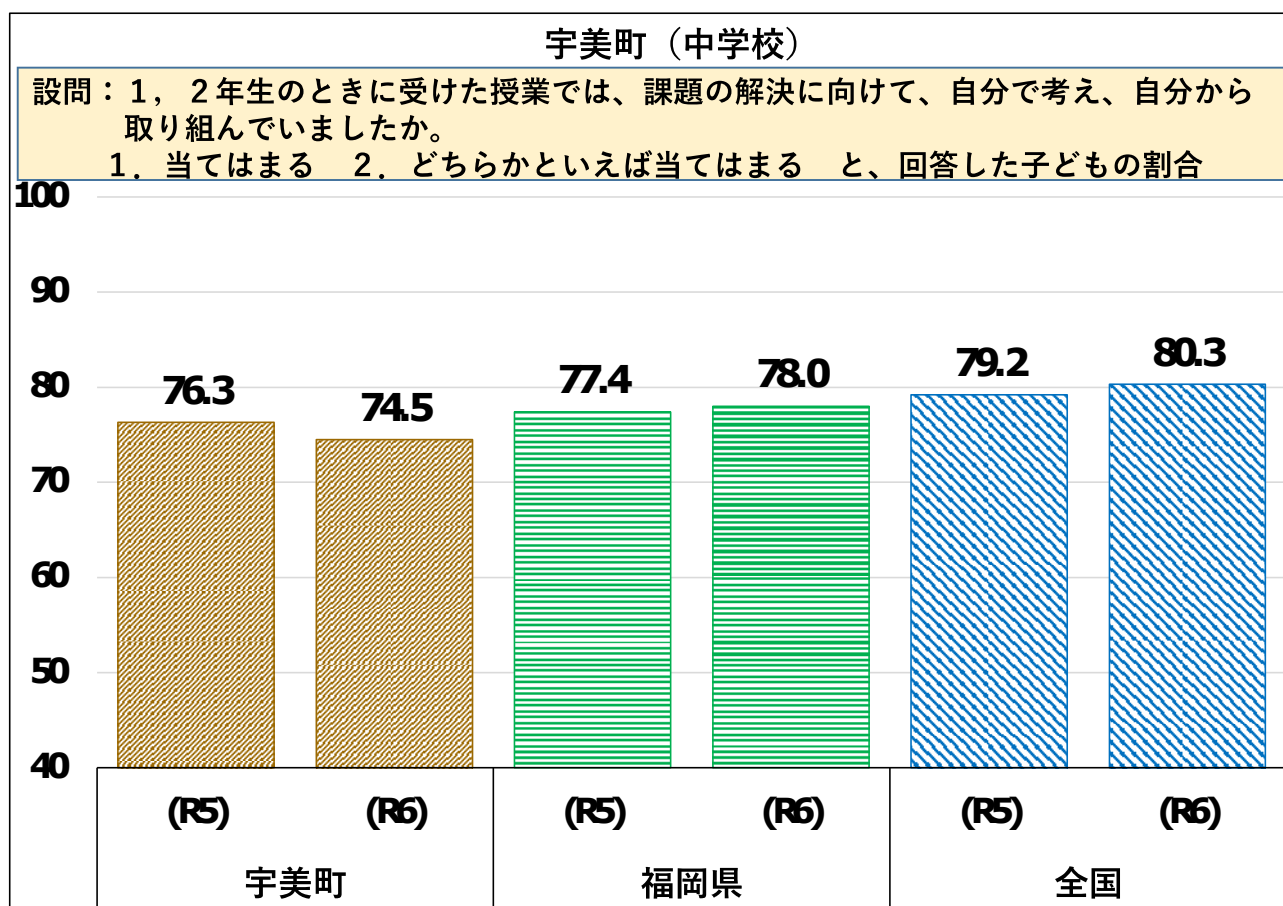
[町教育委員会の幸福感の捉え]

- ・ ウェルビーング（持続的な幸せ）を問うための質問
- ・ 全国学調の質問は、100万人の小・中学生が回答
→ 一般化され、客観的なデータ
- ・ 本町の中学生は、約13%が幸福感を感じていない
→ 限りなく0%に近付ける（目標設定の意味）
- ・ 子どもが素直に回答できる安心感ある雰囲気づくり

見えにくい学力（「主体性」）



見えにくい学力（「主体性」）



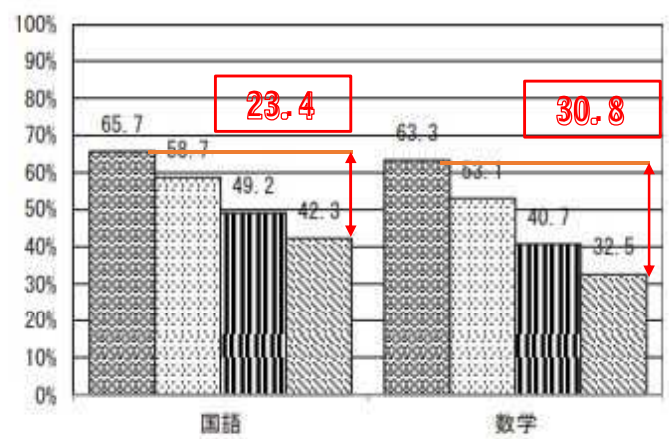
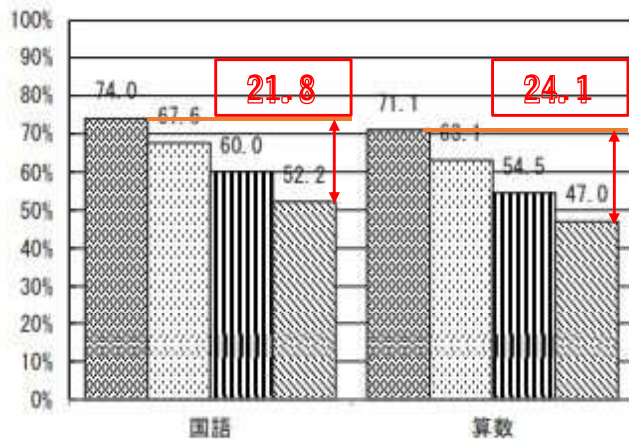
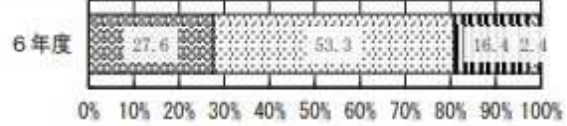
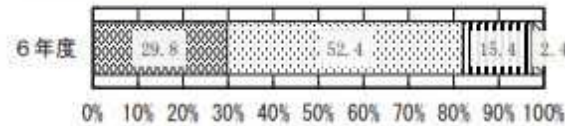
見えにくい学力（主体性）と平均正答率とのクロス集計（全国）

当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない
 その他
 無回答

	質問番号	質問事項
小	30	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか
中	30	

【小学校】

【中学校】



学校訪問の様子(1)



宇美東小学校の6年生
 国語科物語の授業の様子。
 一人一人の子どもが、
 クロームブックに自身の
 考えを打ち込み、
主体的・対話的な学び
にチャレンジしている。

宇美南中学校の3年生
 数学科の授業の様子。
 一人一人の子どもが、
 クロームブックに自身の
 考えを打ち込んだ後、
子ども自身で主体的に
交流を進めている。



学校訪問の様子(2)



宇美中学校の1年生理科の授業の様子。子どもが、笑顔で身振り手振りを駆使して、自身の考えを学級全体に発表している姿が印象的。子どもに任せる時間が多く、見応えがあった。

宇美中学校の3年生国語科の授業の様子。課題を基に、グループ内で活発に交流を行っている様子。教師が、的確な机間指導をしている様子も分かる。



<学校訪問時の授業等に係る教育委員の方々のご助言>

- 「もっと教えて・詳しく知りたい」という授業の展開
- 子どものやる気を引き出す授業づくり
- 子どもにゆだねる授業づくり
- 生徒指導の視点に立った授業づくり
- 算数のC、D層の子どもの支援と協働的な学びの場の設定
- 子どもが理由を詳しく発表する場づくり
- 書く力、読む力、粘り強く取り組む力の育成
- 電子黒板の積極的な活用
 - ・ 欠席の子どもの机を配慮したグループ編成
 - ・ ベテラン教員の授業から若年教員が学ぶ環境づくり

見えにくい学力（6項目）の令和7年度の目標値

見えにくい学力の項目	質問内容	町の令和6年度の 数値	令和7年度の 目標値
心理的安全性	学校に行くのは楽しいと思う。	小：83.1% 中：79.9%	小：86.3% 中：84.8%
幸福感	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはよくある。	小：92.4% 中：87.1%	小：94.4% 中：90.8%
主体性	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。	小：81.9% 中：74.5%	小：83.9% 中：81.3%
個別最適	授業は、自分に合った考え方や教材、学習時間などになっていた。	小：88.2% 中：80.2%	小：90.2% 中：82.2%
メタ認知、自己調整	学習した内容について、分かったことや、よく分からなかった点を見直し、学習につなげることができている。	小：87.0% 中：72.0%	小：89.0% 中：78.9%
ICTの利活用	PC・タブレットなどのICT機器を「ほぼ毎日 週3回以上 週1回以上」使用した。	小：82.8% 中：77.7%	小：87.3% 中：90.0%